

★★ ターボを交換しても、白煙が止まらない、オイルが漏れている ★★

1. 洩れたオイルがマフラーに残っていませんか？

オイルが燃え尽きるまで運転する

ターボ壊れてオイルが洩れている  
為ターボ交換

いいえ

2. ターボのシャフトにガタが無く、手で軽く回りますか？ ターボは正常に加給する

はい

はい

ターボの不具合の可能性は低い

簡易点検方法

- (1) オイルの注油口、レベルゲージ、ブローバイホースを外すと白煙が消える
- (2) アイドル運転時、注油口を外した状態で、注油口から外気を吸入していない。  
(煙等を給油口に近づけると判る)

(1) 又は、(2) の症状がある場合エンジンのブローバイ圧が高い可能性が有ります。エンジンが正常であれば、ブローバイをインテークの負圧を利用して強制的にエンジンに吸込ませている為、クランクケースが、常時負圧状態に有り、ターボ内圧も負圧を保ち、オイルがターボから吹き出すことはありません。

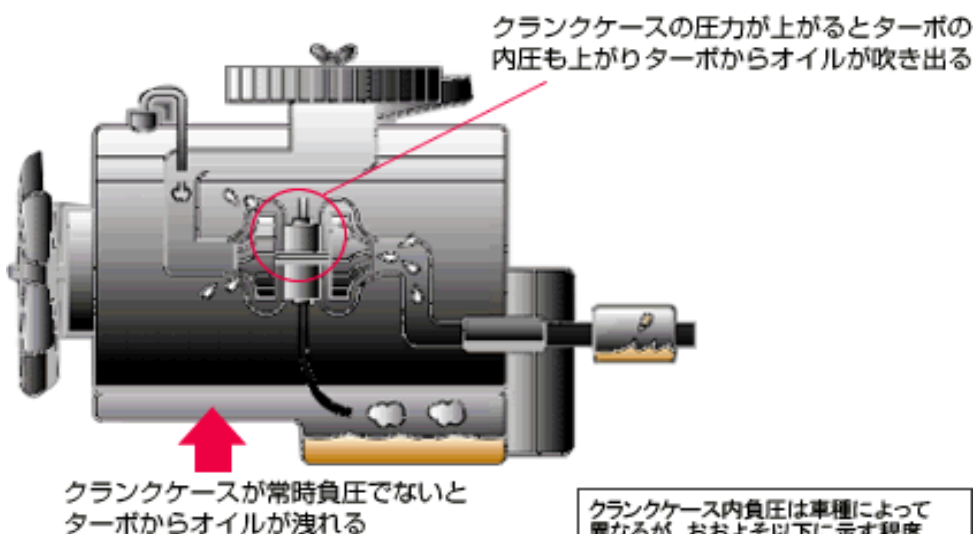
考えられる原因

(1) ピストンリング、シリンダー及びパルプガイドの摩耗

カジリ 燃焼ガスが過大に洩れる為、ブローバイを吸入しきれない。走行距離が多い車は注意。

(2) ブローバイホース、PCVバルブの詰まり

ブローバイが正常に吸入されない為、結果的にクランクケースの内圧を上げる。



クランクケース内負圧は車種によって異なるが、おおよそ以下に示す程度  
アイドリング時：-5~-70mmH2O  
2,000~2,500rpm：-100~-400mmH2O